

行動援護従事者養成研修

2025.1

順番	科目名	時間数	内容		該当箇所	講義名	担当	備考	持ち物
①特別講義 1	行動障害の人の理解	2	発達心理学的視点から	比較発達心理学の立場から、定型発達の過程と自閉性障害の形成過程を比較し、基本的信頼関係の形成、意味の理解、主体性の尊重等行動障がいの人への支援にとって大切なポイントについて述べる。	レジュメ使用		加藤		同意書 受講の手引き 筆記用具
②講義1	強度行動障害がある者の基本的理解に関する講義	1.5	強度行動障害の理解	支援の基本的考え方	序章	プロローグ	加藤		
				強度行動障害の状態	第1章	強度行動障害の理解			
				行動障害が起きる理由	第2章	障害特性の理解			
				障害特性の理解	第2章	障害特性の理解			
③講義 2	強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義	5	研修の意義	行動障害と虐待防止	第8章	行動障害と虐待防止	加藤		
				家族の気持ち/実践報告	コラム				
			支援のアイデア	障害特性に基づいた支援	第3,4章	支援のアイデア・表出性コミュニケーションの大切さ			
			チームプレイの基本	チームプレイの必要性	第7章	チームプレイの基本			
			実践報告	児童期及び青年期における支援の実際	事例・コラム				
④講義 3 - 1	強度行動障害のある者へのチーム支援に関する講義	1.5	支援を組み立てるための基本	強度行動障害の支援に必要な知識	第1章	強度行動障害の理解	加藤 (1.5)		
					第2章	障害特性の理解			
					第3章	支援のアイデア			
					第6章	行動の生じる理由と対応			
					第7章	チームプレイの基本			
⑤演習 1	基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習	1	基本的な情報収集	行動を見る視点	第5章 基礎演習2	基本的な情報収集、行動を見る視点	酒井		
⑥演習 2	行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習	3	チームプレイの基本	支援手順書に基づく支援の体験	基礎演習4	支援手順書に基づく支援の体験	榎本		
			強度行動障害の理解	困っていることの体験	基礎演習1	困っていることの体験			

テキスト
筆記用具
昼食

テキスト

⑦演習3	行動障害の背景にある特性の理解に関する演習	1.5	特性の分析	特性の把握と適切な対応	基礎演習3	特性の把握と適切な対応	榎本		筆記用具 昼食
⑧演習6	記録に基づく支援の評価に関する演習	1.5	記録の分析と支援手順書の修正	記録の方法 記録の分析と支援手順書の修正	実践演習3 実践演習3	記録の方法 記録の分析と支援手順書の修正	榎本		
⑨演習7	危機対応と虐待防止に関する演習	1	関係機関との連携	関係機関(医療機関等)との連携	第10章 実践演習4	関係機関との連携	酒井		
⑩特別合議2	意味理解的アプローチ	2	行動障害のある人の支援の基本	幼児期・学齢期・成人期の支援実践をもとに、「行動障害が作られていく」過程を明らかにすると共に、「問題行動」の背景にある本人の本当の思いを理解する視点、および表現できるよう支援する方法について述べる	レジュメ使用		岩崎		テキスト 筆記用具
⑪講義3-2	強度行動障害のある者へのチーム支援に関する講義	1.5	支援を組み立てるための基本	強度行動障害の支援に必要な知識	第5章	基本的な情報収集	岩崎 (1.5)		テキスト 筆記用具 軍手一組・はさみ 昼食
			組織的なアプローチ	組織的なアプローチの重要性	第9章	組織的なアプローチ			
⑫講義4	強度行動障害と生活の組み立てに関する講義	0.5	実践報告	チームによる支援の実際	事例		柳本		
⑬演習4	障害特性の理解とアセスメントに関する演習	3	アセスメントの方法	具体的なアセスメントの方法 障がい特性に基づくアセスメント	実践演習1 実践演習1	具体的なアセスメントの方法 障がい特性に基づくアセスメント	岩崎		
⑭演習5	5環境調整による強度行動障害の支援に関する演習	3	手順書の作成	アセスメントに基づく支援手順書の作成	実践演習2	アセスメントに基づく支援手順書の作成	岩崎		